琉球大学学術リポジトリ

資料等

| メタデータ | 言語: Japanese<br>出版者: 琉球大学大学グローバル教育支援機構<br>公開日: 2018-07-11<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: -<br>メールアドレス:<br>所属: |
| --- | --- |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/41049 |

平成２８年度　大学教育センターFD・SD一覧

| No. | タイトル名等 | 対象者 | 開催日時等 | 参加者数（人） | 概　　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 全学ＦＤ　クォーター制度実践報告 | 本学教職員 | ６月８日（水）<br>14:40～15:55 | 37 | 本学におけるクォーター科目を提供するための基本的な考え方についての進捗状況の報告と医学部保健学科の完全クォーター制を紹介した。また、クォーター制試行科目の実践報告を２件行った。<br><br>講師：石川　隆士氏（学長補佐(教育担当)）、中尾　浩史氏（医学部保健学科 教授）、岡﨑　威生氏（グローバル教育支援機構共通教育運営部門長） |
| 2 | 大学教育におけるアクティブ・ラーニング～その課題と展望～ | 本学教職員 | 3月15日（水）<br>13:00～15:00 | 28 | 講師の経験を交えた話やその中での意見交換を通して、本学のアクティブ・ラーニング推進を目的とし開催した。<br><br>講師：馬居　政幸氏（静岡大学 名誉教授） |
| 3 | 全学学士教育プログラム委員会 | 学士教育プログラム委員、教育・学生支援・法務担当理事、監事、教育担当学長補佐、学生部長、教務課長、教務課長代理、開発室スタッフほか | 定例開催による毎月第一水曜14:40～16:10（全11回開催(内１回はメール会議)）<br>※4、11月は日程変更有り、5月はメール会議、９月不開催 | 42<br>(各回で変動有り) | URGCC導入５年目である平成28年度は、全11回の委員会と全９回のWGを開催し、以下の３つを中心に取り組んだ。<br><br>１　学生の学修成果の客観性・厳格化の確保<br>（1）学習教育目標の達成度評価の検証および改善（2015年度に試行した評価基準表を用いた評価の検証・改善）<br>（2）成績評価方法の改善（現状のGPA制度の問題改善；2015年第4回委員会での検討課題、ウィズドロー制等）<br><br>２　教育カリキュラム・内容の改善<br>（1）ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー（およびアドミッションポリシー）の見直し（４つのポリシーの見直し、学習教育目標の対応関係の検討、小冊子の作成等）<br>（2）カリキュラム、授業方法の改善のための組織的FDの実施（2015年度のシラバス改善FDの継続、新システムへの対応等）<br>（3）他大学等の発展的事例の研究（アクティブ・ラーニング、クォーター制、初年次教育等）<br><br>３　学士教育の現状分析<br>（1）学生調査・教員調査・授業評価の分析結果報告と対応策の検討（IR室との連携）<br><br>【発行物】<br>URGCC 琉球大学 学士教育プログラム（平成２９年度版）<br>URGCC FDガイド（第１巻シラバス編）<br>URGCC FDガイド（第2回ルーブリック編） |
| 4 | 全学大学院教育プログラム委員会 | 大学院教育プログラム委員、教育・学生支援・法務担当理事、監事、学生部長、教務課長、教務課長代理、教務第三係長、開発室スタッフほか | 2月8日（水）<br>14:40～16:10、<br>3月8日（水）<br>14:40～16:10 | 39<br>(各回で変動有り) | 平成28年度より大学院教育プログラム委員会を立ち上げ、以下の２つを中心に取り組んだ。<br><br>１　高度専門教育プログラムの開設に向けた検討（高度専門教育プログラムに該当すると思われる各研究科の取組について資料を収集し、その共通事項を基に基準（案）を策定）<br><br>２　大学院の３つのポリシー（DP・CP・AP）の整備（各研究科の３つのポリシーの対応関係を整備） |